

施設見学 さいわい・グループホームたんぽぽ



グループホームたんぽぽ外観

1月25日(月) 指定障害福祉サービス事業所さいわい、さいわいグループホームたんぽぽの見学に行つて参りました。参加者は13名でした。

始めに施設長の江本さんから「平成8年のワークホーム立ち上げから始まり、『何とか医療ケアのある方の為の施設を』との想いで様々な苦勞を乗り越え、平成16年にさいわいがオープンしました。」とお話がありました。

施設内は大変明るく広々としており、廊下にはイベント等の写真がたくさん飾られていて、利用者さんの楽しむ様子が伝わってきました。

プレイルームでは壁沿いにベッドが数台配置され、車椅子の活動スペースも広く、マットを並べるとすぐ床に降りられるようになっていました。

ホワイトボードには、個人別に体温、水分量などが記入され、一目で全員の体調が分かるよう工夫されていました。

当日は誕生会をしていましたが、職員の方の多さに皆驚きました。なるべく一対一になるよう工夫されているそうです。昼食の様子も見せて頂きました。

一人用の配膳ワゴンを使い、職員が移動して個々に付くなど、スムーズに食事の準備、介助をしていました。

浴室は特殊浴槽で、入浴日は火、水、木の週3日だそうです。

昨年オープンしたグループホームたんぽぽは、さいわいの目の前にあり定員は6名です。月から金までを過ごし土日は帰宅するそうです。

屋内は温かみのある雰囲気、リビングの周りに6つの個室が配置されています。各部屋には大きな窓があり、カーペットに布団、ベッド、フロアリ

ングなど個人に合わせた造りになっていました。大きな引き戸を開けると、リビングから全個室が見えるため、職員も介助しやすく利用者さんも安心して寛げると感じました。床暖房もあり入浴は毎日あるとのこと。

職員は7名(入浴2名、食事2名、支援員3名)で、その中で夜勤は2名が交替で行います。

さいわいもグループホームも家庭的な雰囲気、職員も多く学校に近い感じでした。どの部屋も整頓されて広々と気持ち良く、重度の障害がある方でも安心して楽しめる工夫がたくさんされていました。(研修部 小金澤)

●●参加者の声●●

玄関を入ってすぐに広い廊下があり、「明るい」というのがさいわいの第一印象でした。見学の日には誕生会をやっていて、くす玉もありみんな楽しそうに過ごしていました。道路をはさんで



さいわい 玄関前にて

のグループホーム「たんぽぽ」は個人の部屋もお風呂も広々していました。

(栗飯原礼子)

施設で生活されている方の笑顔や、穏やかに過ごされている様子を拝見することができて、とてもよかったです。

できる限り一対一とおっしゃっていた通り、細かい所まで行き届いていたと思います。子どもの将来への不安が少し解消されました。ありがとうございました。

(栗原美由紀)

成人おめでとう



脇屋 梓さん
(ディアフレンズ美浜
みらい工房)



三浦 凌太さん
(みらい工房)



町田 健太朗さん
(ディアフレンズ美浜
ハピネス浜野)

ライフステージを考える会 研修会

『後見人制度について』

日時 平成28年2月16日
場所 ハーモニープラザ3F会議室
講師 佐々木 あづさ氏

成年後見制度についての研修会は、色々な角度から何度か行われてきましたが、今回は本会の会員さんでもある佐々木氏（行政書士・心理相談員）に講師をお願いしました。当日は参加者35名と、皆さんの関心の高さを感じる研修会となりました。

初めに、「障がい児者の親として、成年後見をどう使っていけば良いのか」という内容を中心に話していきたい。」と、次の3点に分けて説明がありました。

一、成年後見制度の位置づけ

①後見の言葉の意味②世の中の決まり③どうして成年後見制度があるのかという内容でした。お話しの中で印象に残ったところとして、法律や民法は世の中のルールがわかった上で、自分がやりたい事を自分で選べる人を基準にして作っている。子どもの場合は、親は意識していないが、成人になるまでは、自動的に未成年後見人になっているため、子どもに代わって選ぶことが出来る。しかし、ルールがわからない人や自分でやりたい事が選べない人が

成人になった時に守ってあげる仕組みがないと、悪い人にだまされたり、お金を取られたりとひどい目にあってしまう事がある。そのため助けが必要なる人を、保護したり、支援するため成年後見人をつける。という部分で、後見人の大切さを改めて感じました。

二、成年後見制度について

①成年後見制度について②成年後見制度の種類③法定後見を利用すると、どうなるか④後見人の主な仕事⑤法定後見を利用するまでの流れ⑥必要になる主な書類⑦主な手続費用⑧後見人になる人、なれない人⑨特に注意すること⑩関係連絡先⑪参考資料⑫成年後見制度の身上監護とは⑬成年後見制度の限



界について等の各項目に関して、順次お話がありました。中でも皆さんの関心の高い身上監護については、本人にとって、良い環境で生活できる様に気を配る事が、イコール親のかわりではないという認識を持つことが必要との話がありました。後見人は法律の枠組の中に無いことはできないので親と同等のことが行えないということでした。しかし成年後見制度は法律で決まっているルールなので、今まで親がしていたことができなくなってきた（銀行・施設などの契約など）という話がありました。又親なきあとの問題は、成年後見制度だけでは補えない所もあり、成年後見制度以外の制度と各家庭に合った制度の見つけ方を知っていくことも大事であるということでした。

三、心配ごとをはっきりさせる

ワーク・シヨップ

心配ごととは家族それぞれなので、それに合わせて解決できる制度を組み合わせて使う必要があるということを知り、子どもの専門家である親が悩みを抱えこまずに、周囲の人や専門家、施設、行政を信じてとにかく相談することが大切だということでした。その後質疑応答があり、研修会は終了となりました。

講師の説明も具体的で、とてもわかりやすい研修会でした。しかし実際に動かこうと思うと、後見人は裁判所が決

めるので親だから後見人になれるとは限らなかったり、1度申し立てすると取り下げられなかったりと、まだまだ考えたり、家族で話し合ったりする所がたくさんあると感じました。

（山口邦恵）

「父母の会説明会」

（袖ヶ浦特別支援学校にて）

平成28年2月12日（金）1階相談室にて、父母の会の説明会を行いました。通学生は千葉市の該当者としては緑区だけなので、参加者が7名と少人数の集まりでした。こども病院内の院内学級や愛育園の園生もいて保護者の方への連絡方法など難しいこともありましたが、今回ぜひ参加したいと院内学級の保護者の方が1名参加されました。

父母の会の成り立ちと主な活動を紹介した後、理事や会員として行事に携わり参加しての感想や、所属や年齢の枠を超えてそれぞれ我が子の紹介や、今困っていること、聞いてみたいこと等を話し合い、茶話会のような会となりました。「福祉車はどんな車に乗っていますか」「アメリカでは介護の大変さを考慮し、障害児が大きくならないように成長を止めるような方法もあるようです」「子どもの年金はどう貯めればよいですか」「父母の会の財源は？」「年会費以外に費用はかかりますか」大人数では決して聞けないような話も出て、楽しく見聞を広げた説明会となりました。

（西長和子）

「クリスマス会」

毎年恒例のクリスマス会は、昨年末12月19日(土)千葉市ハーモニープラザ多目的ホールにて、多数のご来賓、ボランティアの先生方、学生さん等を含め、総勢243名の参加で大盛会となりました。今回はMAKUHARIミルキートワラズの皆さんの、目を見張る完璧な素晴らしいパフォーマンスで華やかな幕開けとなり、会場からは多くの歓声と拍手が上がりました。そしてお待ちかねのビンゴゲームでは毎年大人気のビンゴマンが登場し、会場の雰囲気が一気に盛り上がりました。読み上げられる数字とビンゴカードに皆釘づけ、見事ビンゴとなったたくさんのお友達が賞品を獲得しました。そしてこれも



音楽に合わせてノリノリ♪



サンタさんから何をもらったのかな？

毎年お楽しみ、全日本吹奏楽コンクール全国大会常連校の市立習志野高等学校吹奏楽部の皆さんの素晴らしいハートフルな演奏で、会最高潮に達しました。今回もアンパンマンやディズニーといった馴染みの楽曲を中心とした、楽しいパフォーマンスも交えた内容で、会場の皆さんも曲に合わせて唄ったり拍手をしたり、たくさん笑顔が見られました。生徒さんからのこもった手作りのクリスマスカードも手渡して頂きました。そしてフィナーレではペーライトを振って「きよしこの夜」を歌いました。



躍動感あるれるパフォーマンス

今回もたくさんの皆様のご協力で、このクリスマス会を無事行うことができました。特にボランティアの皆様には、当日朝から集まっていたいただき、本番も楽しく盛り上げてくださり、本当にありがとうございました。ご協力ご参加くださった全ての皆様へ感謝を申し上げますと共に、今後も父母の会へのご支援ご協力を賜りますようお願い、よろしくお願い申し上げます。来年度もぜひご期待ください。

(行事部 野田)

保護者の親睦旅行

横浜中華街・元町

平成27年12月1日(火)

12月1日、師走に入ったとは思えない暖かな朝、この健康センターに集合した22名は、たいよう号にて横浜中華街に向けて出発しました。

大黒PAで休憩

をとった後、「招福門」にて飲茶の食べ放題ランチです。オーダー制なので席に着いたまま楽しめます。

皆さんテーブル毎に「小籠包」や「スーپر入り餃子」「マンゴプリン」などを堪能しました。

食後は、中華街でお買い物や、足をのばして元町散策など、思い思いの時間を過ごしました。

帰りのバスの中では、手相をみてくださる参加者の方がいて、とても盛り上がりました。

皆様の協力のおかげで、無事に楽しい旅行となりました。ありがとうございました。ありがとうございました。

(厚生部 浅野)



今度は何を注文しようか？

●参加者の感想●

待ち合わせ場所に着いた時からわくわく、大型バスをみたらドキドキ。家族以外の人とバス旅行に行くなんて何年ぶりでしょうか。大人の遠足です。

横浜中華街での食べ放題は、点心も良かったのですが、初めて食べた鶏の足、ちよつと勇気がいったけど、おいしかったです。でも、もうおなか一杯のはずが、ほかの人が食べているのを見ると、欲しくなるのが不思議です。

そのあと元町をぶらぶらしながら、おしゃれなお店に入ったり、家族へのおみやげを買ったりしました。

考えてみれば、一日中、ずうっと話していたような気がします。子どもが側にいなくても子どもの話はするけれど、それ以外にも、映画やファッションまでいろいろ話題になりました。

よく知るお友達も初めての方とも楽しい時間を共有できて、とってもよい一日になりました。

(中村美恵)

**平成27年度
ご協力ありがとうございました
ございました**

☆本会活動のため

ご寄付いただきました。(順不同)

・遠藤アイ子様
・城戸訓子様
・小山由江様
・千葉野べら会様
・千葉市米穀商みのり会様
・株式会社 タキザワ様
・羽喜広へら鮎釣研究会様
・丸公生活センター
・橋本比呂子様
・三石恵子様
・吉野様
・朝倉俊幸様
・江口章枝様
・青木喜美子様
・六倉喜幸様

☆賛助会員ご芳名

・平早 康様
・布施貴良様
・すぎのこルーム母の会様
・カンダ事務機様
・フォトタイプ布施様
・鹿野成子様

第58回総会

日時 5月12日(木)

10時30分

場所 千葉市ハーモニープラザ
多目的ホール

多数ご出席くださいますようお願いいたします

活動報告

12月19日 クリスマス会
1月25日 施設見学・さいわい
2月16日 ライフステージを考える会
3月3日 研修会「後見人制度について」
3月7日 育成旅行 江戸東京博物館
3月14日 理事会
1月18日・2月8日
3月21日 バザー
12月19日 クリスマス会
1月21日 すずらん会

ウインズめーる



こんにちはー桜が丘の板垣優麻です。今回、このコーナーを担当させていただくにあたって、どのような話をしようか迷いましたが、私自身の専門である音楽をもとにお話したいと思っています。(よく見た目では体育の担当と間違えられます…)まず、私自身の音楽歴についてですが、私は小学校4年生の時に金管クラブに入りトロンボーンを吹き始めました。そして、中学校・高校でも続け、気がつくとい

ました。トロンボーン専攻で音楽大学へ入学していましたが、(とは言いますが…)ピアノがあまり得意ではなかったのです。トロンボーンで受験をしたのですが、そんな人生の半分以上を共に過ごしているトロンボーンと出会って幸せな思い

出が沢山できました。それは、中学生・高校生の時に全国大会に出場したこと、高校生の時に演奏旅行で海外で演奏をしたこと、そして音楽を通して沢山の人の出会い繋がりをもてたことです。(これが1番の宝)先月のクリスマスコンサートでおなじみの習志野高校吹奏楽部の演奏を聴いて、みなさんも幸せな気持ちになったと思います。私も身も授業等で演奏しますが、聴いている人が笑顔になると幸せな気持ちになります。皆が幸せになれる音楽のもつ力って不思議ですね。これからも私が大切にしている言葉 Believe in Power of Music (音楽を信じる力)を胸に頑張りたいと思います。最後までお読み頂きありがとうございます。

(桜が丘特別支援学校 教諭)

第53回関プロ神奈川大会

日時 7月30日(土)・31日(日)
場所 神奈川県立県民ホール

「住み慣れた地域で、
共生社会の実現!」

第一分科会

「肢体不自由児者の日常生活を支える、地域医療の在り方と実践」

第二分科会

「住み慣れた地域での、生活支援の在り方と実践」

第三分科会

「教育現場における、肢体不自由児のインクルーシブ教育」

申し込みは4月末日までに
父母の会事務局へ

父母の会事務所

月曜日・水曜日・金曜日
(年末年始・祭日を除く)

10時～3時まで事務所を開いています。
お気軽にお立ち寄りください。

あとがき

広報部の部長という大役を引き受けて、はや10ヶ月。昨年とえば、転職をし、新たな職場での再スタートもありました。高校を卒業した娘は、新しく生活介護施設へ通いはじめ、何もかもが新しい環境のなか、期待と不安が交差し、ため息まじりの毎日でした。部員4名のスケジュールもなかなか多忙で合わず、のびるの発行も苦労の連続…。しかし会員の方々からの貴重な原稿により、イベントその他をお知らせする事ができ、感謝申し上げますとともに、これからも年齢問わず、わかりやすく楽しい紙面を皆様にお届けしてまいりたいと思います。(橋)